



Rocket

第三学年通信 第5号

文責

古都の風にふれて

修学旅行で詠んだ短歌・俳句(一組)

金閣寺

ピカピカ光る美しい
二条城今も昔も二条城
東大寺今も昔も東大寺

新緑につまづく石段

銀閣寺

少しずつ縮まる心

わらび餅

石庭の向こうに見えた

扇かな

興福寺仏像きれい

おどろきだ

四方神清水守る青龍だ

風そよぐすすずしき場所

次の場へ

大きくて

真っ赤に燃える鳥居見て

悩みのものも

小さく感じた

新緑の香り漂う銀閣寺

夏の池金閣の影映しけり

(バス停にて)

同じだが同じでないよ

夏休み迷い続けて

くるう予定

(伏見稲荷大社にて)

夏のよい完治を喜び

予定決め

夏木立ぼつんと佇む

金閣寺

部屋の中恋の話し

花咲かせ

緊張と楽しむ心揺れ動き

夕暮れの揺れる電車の

さみしさも

興福寺待ちうけるのは

三面手

雪景色見てみたいものだ

金閣寺

どこからも十五の石

見えぬかな

来週の予定:5月27日(月)~6月1日(土)

日	曜	行事
27	月	特別時程 体育着登校 1校時:学活 2~6校時:授業 体育祭放課後練習(トラック)
28	火	特別時程 体育着登校 1校時:道徳 2~4校時:授業 5~6校時:体育祭学年練習
29	水	普通時程 体育着登校 体育祭 予行 1~3校時:予行 4校時:学活 (雨天時1~4校時:授業) 5校時:総合(雨天時も総合)
30	木	特別時程 体育着登校 予行予 備日 1~5校時:授業 (予行時1~3校時:予行 4校 時:学活 5校時:授業) 6校時:体育祭学年練習 (予行時6校時:授業) 体育祭放課後練習(トラック 内)
31	金	特別時程 30日に予行の場合 体育着登校で、2校時体育祭 学年練習 1~4校時:授業 5~6校時:体育祭準備
6/1	土	体育祭 弁当が必要になります ※ 延期の場合登校の必要なし

※ 体育祭が近付いています。各自、体育着(特に半袖Tシャツ)に関しては、こまめに家に持ち帰り洗濯をして、清潔を保つこと。

春風や瞳にうつる金閣寺
夏近し

ひたいあせばむ清水よ

金色に負けずささやく

虫の声

東京という名の響き

恨めしき

田んぼに移る光悲しき

上からの町の風景

水辺から反転してる

きれいだな

金閣寺

いつまでも

満ちぬと語る枯山水

五月雨の粒波紋広がる

忠誠を鶯張りで誓ってる

ぼたんの裏も愛故の武士

終わらない様に見える

赤の鳥居

涼しげに水面うつる

渡月橋澄んだ景色と

夏の風

清水の門で眺める京の街

金閣寺

金閣寺汗ばむ体に金扇

朱の門に

風が吹き込む春の朝

御殿荘友と遊んだ春の夜

この日々が続けと願う

春の夜またいつの日か

友と一緒に

嵐山汗ばむ体に冷うどん
清水寺

舞台から見る京景色

中心で輝く中尊月のよう

風薫る五月

さぶいぼがでる

江戸時代

国をよりよく二条城

梅の香りに春告鳥の聲

龍安寺四季折々の美しさ

しだれ桜に十五の石

うるわしや見事に光る

金閣寺

晴天と静かな庭に

初夏香る

神々し神の恵みが涼し寺

金閣寺湖にうつり

すずしげに

新緑の舞台の眺め清水寺

夏の日の風を感じる

銀閣寺

東大寺

歴史感じる奈良の寺

金閣寺黄金輝く京の宝

清水寺

滝から流れる水飲んで

願えば叶う恋の道筋

春の風光り輝く金閣寺

美しや京都の景色清水寺

友と見る

世界最古の法隆寺

鹿せんべい

見せて集める奈良公園

新緑がゆれる庭園金閣寺

伏見まで揺れるタクシー

酔う班員

人間と鹿が共存奈良公園

いろいろなお店が並ぶ

清水参道

長すぎる

伏見稲荷の千本鳥居

新緑に包まれ光る金閣寺

お茶の水

昔も今も流れゆく

金に垂れゆく自然の恵み

舞台から

見える建物赤と黒

交互に重なる三重の塔

龍安寺

土塀をこえる春風に

十五の石が結ばれてゆく

金閣寺水面に映る冬景色

うぐいすのなく声響く

二条城

鹿煎餅

自分も食べた鹿煎餅

さいきいと

うぐいす張りの声がした

大仏は人ごみの奥東大寺

二条城

私が見ていたあの景色

きつと見ていた昔の人も

鹿の上たくさんのはと

飛んでいる

東大寺

でっかい寺にでか大仏

興福寺

あしゆら怖すぎて降伏だ

二条城城の作りは非常用

池に浮く光り輝く金閣寺

幕末の歴史にふれた

二条城

鹿の子よおまえせんべい

ほしいのか

春の鹿奈良公園に

ふん落ちる

宿舎にて

わらびもち食われ

泣きしゃくる

興福寺意外と腕細い

あしゆらぞう

土産物

運をもとめて混む流れ

清水寺はまだ上の方

二条城響きわたる鶯の声

恋叶う千本鳥居春風吹く

早苗月

音羽の滝と恋みくじ

伏見の赤

春から夏へつれていく

少し待って五月十五

(止観体験にて)

合ってるのかな

この体勢何回目だけ

吐いた数

(金閣寺にて)

呼んでくれ雪降る日まで

待ちわびる

八ヶ月後の白金世界

夏の日に奈良公園で

鹿を見て鹿せんべいを

あげて楽しむ

空の下春風そよぐ銀閣寺

風そよぐ黄金かがやく

金閣寺

上がる雨車窓から来たる

晴れ東大寺

立ち木よりもでかい

七重塔

夏日浴び鋭く光る金の塔

鐘鳴らし

縁を願う小人たち

舞台から

縁と共に京を見る

金閣寺緑風と竹林駆ける

金閣寺

竹林と夏の暑さが

ちょうどいい

金閣寺

松と鏡湖池よい景色